

NPO法人 MLTこどもプロジェクト 設立趣意書

日本の将来を担う子どもたちにとって、今の社会は生きやすいと言えるのでしょうか。

この法人の代表（金杉）は、2012年より東京都内でスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとして、いじめ、不登校、非行といったいわゆる「問題行動」を起こしたたくさん子どもたちやそのご家族と出会ってきました。その中で気づかされたのは、家庭にも学校にもどこにもホッとできるスペースがない子どもたちが「課題のある子ども」とか「気になる子ども」というレッテルを貼られてしまっている現状でした。そのような子どもたちには、夜遅く一人で食事をしている、その日の出来事を家族と語り合う時間がない、宿題で分からないところがあっても誰にも聞けない、夜間に徘徊していることを保護者が知らない、誰にも注意されることもなくインターネットやゲームにのめりこんでしまい朝起きられなくなる、などの背景がありました。シングルペアレントやステップファミリーの子どもたちは、そのような傾向がより顕著でした。

シングルペアレントは生活のために一生懸命働いており、子どもと接する時間が作れないのです。また、ステップファミリーの場合は、義理の関係の中で子どもが自分の気持ちを素直に伝えられず、保護者からの理解が得にくいことがあるからです。つまり、子どものいわゆる「問題行動」の背景には、現代日本が直面している「子どもの貧困」や「子どもの孤立化」という社会問題が存在しているといえるのです。

この法人を設立する目的は、生活や学習に支援が必要な子どもたちに対して、スタッフや学生ボランティアによる様々な支援を提供し、子どもの居場所づくり、家庭学習の援助、対人関係スキルの向上などを通して、子どもの自立を支援することです。そして、それらの活動によって、子どもたちと地域住民が共に生きる住みよいコミュニティの実現と子どもの孤立化の予防に寄与したいと考えています。私たちは「疲れた小鳥が羽を休める【とまり木】」のようなスペースを子どもたちのために子どもたちと共に創ろう」というミッションを掲げ活動してまいります。

このような目的を達成するためには、組織の基盤を強固にしつつ、情報公開を進めることによって社会的な信用を得ることが必要不可欠と考え、ここに「NPO法人MLTこどもプロジェクト」を設立するものです。

平成28年6月11日